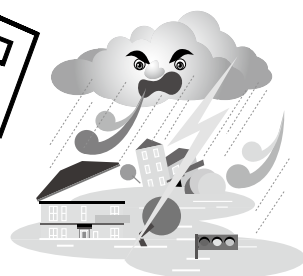


9月1日は防災の日

～台風対策は万全ですか？～



9月1日は「防災の日」です。災害から自分自身や自分の家族を守るためには、日頃からの備えが重要です。「防災の日」をきっかけに、家庭で災害への備えについて話し合いましょう。



▲九州地方でおきた急傾斜地の崩壊

幸い常陸大宮市では、大きな災害は起きてはいませんが、災害は突然襲ってきます。災害が起こる前に、日頃から防災の知識と対策について知っておきましょう。

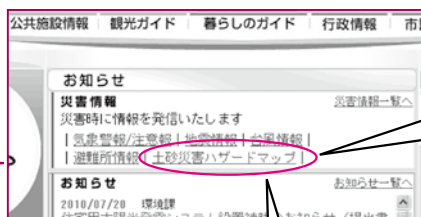
また、常陸大宮市のホームページには土砂災害ハザードマップ（災害予測図）が掲載されていますので、自分が住んでいる土地の状態や避難所等を確認することができます。

現在は、山方地域と美和地域そして御前山地域のための掲載となっていますが、平成24年度には市内全域のハザードマップを掲載する予定です。

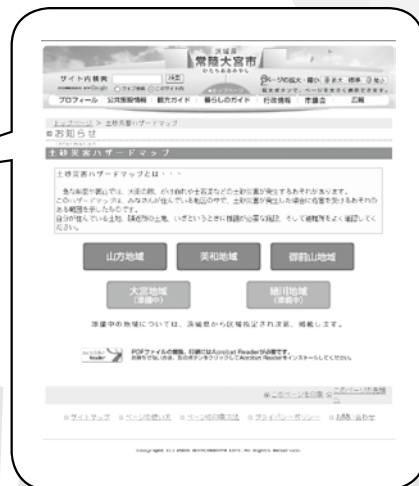


▲中国地方でおきた土石流

まずは<http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>にアクセス。
そして、お知らせ欄の災害情報「土砂災害ハザードマップ」をクリックしてください。



「土砂災害ハザードマップ」をクリック



台風・大雨時の具体的な対策等

ラジオ・テレビ等の気象情報をよく聞き、外出している場合は早く帰宅し、家族全員と連絡を取り合ってください。停電に備え懐中電灯やラジオ、予備電池を準備し、常備薬やティッシュ等非常持ち出し品を用意し、危険な土地ではいつでも避難できる準備をしておきましょう。その際、飲料水と食料は3日分ほど確保するようにしてください。

また、物が風で倒れたり飛ばされたりしないように固定することも必要です。

* 具体的な台風対策

- ・雨戸や窓の補強、ガラスのガード。
- ・ベランダや家の周り、物干し、犬小屋、鳥小屋等、いろいろな小物の固定・確認・収納。
- ・農薬など「危険物」の流出・漏出防止。
- ・崖、傾斜地、造成地等では、外の気配に注意。



* キャンプ等レジャー時の注意事項

- ・河原でのレジャーは絶対しない。
- ・車両を、崖ぎわ、崖下、傾斜地、凹地等には駐車しない。
- ・消防官、警察官等の注意や指示に従う。



* 浸水常襲地域の警戒

- ・側溝やマンホールの増水に注意する。
- ・川や側溝に近付かない。
- ・増水の危険がある場合は土嚢の準備設置や避難の手配。
- ・床上浸水対応等を急ぐ。

■ 1時間の雨量と降り方

1時間の雨量	予報用語	雨の降り方等
10mm以上20mm未満	やや強い雨	ザーザーと降る。雨の降る音が聞こえる。
20mm以上30mm未満	強い雨	どしゃ降り。側溝や下水がたちまちあふれる。
30mm以上50mm未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。 危険地帯では避難の準備を始める。
50mm以上80mm未満	非常に激しい雨	滝のように降る。土石流が起こりやすい。
80mm以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。厳重な警戒が必要。

■ 台風の強さと大きさの基準

強さの基準

強い台風

最大風速33m～44m未満

非常に強い台風

最大風速44m～54m未満

猛烈な台風

最大風速54m以上

大きさの基準

大型の台風・大きい台風

風速15m以上の

半径が500～800km未満の台風

超大型の台風

風速15m以上の

半径が800km以上の台風